

広 報

こうさ

【表紙】 甲佐高生徒がニラの収穫を体験

本町特産品の生産現場を学ぶ

CONTENTS

- 02・特集 災害に備えて事前の準備を
- 08・こうさの話題 「こうさんもん&ニラマルシェ!!!」を初開催
- 11・町からのお知らせ 非課税世帯へ新たに義援金を配分
- 14・あゆみだより 生活支援コーディネーターについてご存じですか
- 24・Kosa Style 町消防団長・池田実さん

No.599
June 2019

6

今だからこそ

災害に備えて事前の準備を

大切な生命を守るために、災害への備えは万全ですか？



▶豪雨により寸断された道路（谷内区）

■避難が必要な状況



大雨・台風



土砂崩れ



地震

■家庭や地域で災害に 対する備えを確認

平成28年4月の熊本地震、同6月の1時間当たりの総雨量が150ミリの豪雨災害では、町内でも家屋の倒壊や浸水、土砂災害など多くの被害が発生しました。

これからの季節は、大雨や洪水、土砂災害などに特に注意する必要があります。災害に備えて次の3つの

ポイントを確認しましょう。

- 家族全員で避難場所を確認しよう
- 台風の際には事前に家の周りの確認をしよう

● 非常持出品を準備しよう

災害は、いつどこで、どのような形で発生するか予測がつかないものです。日ごろから家庭や地域で防災に対する意識を高め、しっかりと準備しておくことが大切な生命を守ることに繋がります。

■情報収集のための手段① ～最新の情報をいち早く確認～

● 熊本県防災情報メールサービス

県が配信する防災情報サービスです。気象注意報・警報、河川水位情報、避難勧告などをメールでお知らせします。
entry@anshin.pref.kumamoto.jp
に空メールを送信して、事前登録してください。

● 熊本県統合型防災システム

県内の大雨などの気象情報や土砂災害警戒情報や河川の水位状況などをリアルタイムで確認できます。インターネットから次のURLへアクセスしてください。

▶ 熊本県統合型防災情報システム

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp>

■町から発令される避難情報と発令時にとるべき行動

災害発生のおそれがある場合には、避難に関する情報を発令しますので適切な行動をとりましょう

警戒レベル	避難区分	発令時の状況ととるべき行動
警戒レベル 4 全員避難	避難指示 (緊急)	<p>災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。 ・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。
警戒レベル 3 高齢者などは避難	避難勧告	<p>災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速やかに避難場所へ避難しましょう。 ・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。
警戒レベル 1 または 2	避難準備・ 高齢者等避難開始	<p>避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。 ・避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）は避難を開始しましょう。
	自主避難	<p>自宅および周辺の状況により災害被害を感じた場合は、自らの判断で自主的に避難することができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定された地域の避難場所への避難行動の開始 ・親戚や知人宅などへ避難する

■生命を守るために情報収集を
気象庁が発表する注意情報や警報などは、災害による被害を最小限に抑えるために発表されます。テレビやラジオ、町、消防から発信される情報を常に収集・精査して、デマ情報などに惑わされないよう注意することが重要です。警報や勧告などがなくても、常に身の回りの状況に気を配り、身の危険を感じたときには、明るうちに早めの避難を心掛けましょう。

■町が発令する避難指示・勧告
台風や大雨などにより災害発生のおそれがある場合には、住民の皆さんを災害から保護し被害の拡大を防止するため、町では避難に関する情報を発令します。
避難区分は高齢者など避難に時間のかかる方に早めの避難を促す「避難準備・高齢者等避難開始」、通常の避難行動ができる者に避難を促す「避難勧告」、危険が切迫し、早急な避難を促す「避難指示（緊急）」の3段階に分類され、さらに自らの判断で自主的に避難をする「自主避難」があります。避難区分については、気象状態や河川の推移などにより判断され、町公式ウェブサイトや防災無線による一斉通報、携帯電話などの「エリアメール」、警鐘およびサイレンの吹鳴などで伝達されます。避難をする場合には、慌てずに周りの状況を見て行動しましょう。

■情報収集のための手段② ～いざというときは早めの避難を～

●洪水情報の配信エリア拡大

国土交通省では、平成30年5月から国が管理する緑川、白川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、対象の地域にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が緊急速報メールを活用し自動で配信されるようになりました。

●甲佐町公開マップ

町では、「甲佐町公開マップ」を整備しました。緊急指定避難場所や土砂災害警戒区域などを確認できます。

▶甲佐町公開マップ

<https://apps01.chklab.com/LG434442/CommonMap/Home/Policy/>



▲甲佐町公開マップ

災害に備えて

非常持ち出し品や避難所を確認しよう

■災害に備えて用意する非常持出品

●いつでも避難できるように準備しておくもの

- 食料品 飲料水 非常用食品（乾パンや缶詰など長期保存できるもの）
- 避難用具 防災ずきんやヘルメット 懐中電灯 携帯ラジオ
 予備電池 笛やブザー 携帯電話（充電器含む）
 万能ナイフ 手袋
- 貴重品 現金 預金通帳・印かん 健康保険証 身分証明書
- 衛生用具 救急セット 常備薬・持病薬 タオル
 トイレットペーパー ウェットティッシュ 着替え
 雨具 生理用品 缶切り 粉ミルク・紙おむつ
- その他 ビニール袋 カイロ 携帯トイレ マッチやライター
 スリッパ 食品用ラップフィルム マスク 毛布
 その他自分の生活に欠かせないもの

●復旧までの3日間をしのぐ備蓄品

- 飲料水 ペットボトル（1人1日3ℓ） 貯水した防災タンク
- 貴重品 米 缶詰やレトルト食品 梅干しや調味料
 フリーズドライ食品・チョコレート・あめなど
- 燃料 卓上コンロ ガスコンロ 固形燃料
- その他 生活用水 毛布・寝袋 洗面用具 調理用具
 バケツ・アウトドア用品 ポリタンク

■日ごろから防災意識を持って備えておくことが大切です

平成28年の熊本地震の際には、土砂災害により水道・電気などのライフラインが寸断されるとともに、道路や河川などが土砂災害などにより通行止めとなり流通が途絶え孤立する地域もありました。

大規模な災害時は、長期の停電や断水が発生し、支援物資の到着も遅れてしまう可能性もあるため、各家庭で3日間をしのぐ必要最低限の水や食料などを備えておくことが重要です。避難指示などの発令のため、すぐに自宅に帰れず避難所などでの長期の生活を余儀なくされる場合もあります。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品などを備えるようにしましょう。

食料品などのほかに、着替えや常備薬など生活に必要なものをあらかじめリュックサックに詰めておき、災害が起きたときにいつでも持ち出せるようにしておきましょう。ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください。

■白川・緑川水防演習2019を実施 ～非常時の備えを万全に～



▲「土のう積み工法」を実施する町水防団

5月19日（日）熊本市西区のJR熊本駅東側白川河川敷で、白川・緑川水防演習2019が開催されました。

同演習は、住民の防災意識の向上や防災機関の水防技術の向上、連携などを目的に国土交通省九州地方整備局、県および熊本市が主催し、町水防団（池田実団長448人）も参加。

演習では、各種水防工法の実演や地域住民や学生による防災訓練のほか、防災展示や炊き出し訓練も実施されました。

町水防団は、堤防の上面に土のうを積み上げて増水した河川の水があふれるのを防ぐ「土のう積み工法」を実施しました。



くらし安全推進室
佐々木 善平 室長

自らの命は自ら 守りましょう

今年も梅雨の季節がやってまいりました。最近「記録的豪雨」や「これまでに経験したことのない」といった言葉が頻繁に聞かれます。気象庁によると、最近は大雨の発生回数に比べて短時間強雨の発生回数の多さが目立っているとのこと。

先日も鹿児島県屋久島町で50年に一度といわれる記録的豪雨により土砂崩れが発生し、登山客など300人以上が一時孤立しました。他人ごとではありません。大雨に関して、まず、お住まいの地域がどのような災害リスクがあるのかを把握することが重要です。そして、早め早めの避難を心がけることで最も大切な命を守ることができます。

地域の災害リスクを把握しておきましょう。

■町内の緊急指定避難場所



緊急指定避難場所（所在地）		
① 宮内地区社会教育センター（小鹿地区に開設準備中）	⑥ 甲佐中学校（甲佐町中横田300）	⑪ 白旗福祉ふれあいセンター（甲佐町白旗216-2）
② 町総合保健福祉センター（甲佐町豊内619） W	⑦ 龍野小学校（甲佐町上早川1220）	⑫ 上益城農業共同組合第一営農センター（甲佐町白旗543-1）
③ 甲佐小学校（甲佐町豊内613-1）	⑧ 龍野福祉ふれあいセンター（甲佐町上早川1334）	⑬ 乙女小学校（甲佐町津志田3073）
④ 町農業研修センター「ろくじ館」（甲佐町豊内719-2） W	⑨ 町民センター（糸田9-1） W	⑭ 乙女高齢者福祉センター（甲佐町津志田3073）
⑤ 甲佐地区都市防災公園（豊内地区に開設準備中）	⑩ 白旗小学校（甲佐町白旗50）	W …Wi-Fi 設置場所

■避難場所をあらかじめ確認し もしもの時に備えましょう

災害が発生し避難しなければならぬ場合は、最寄りの避難場所に避難します。

熊本地震のように夜間避難をする場合や、勤務先から避難する場合も考えられます。あらかじめ避難場所や経路を確認しておき、いざというときにすぐ避難ができる状態を考慮しておきましょう。

大規模な災害が発生したときに、被害の拡大を最小限にするためには、自分自身での備えや自主防災組織など地域で防災活動に取り組むことが重要です。

災害に備えて今自分たちでできることを考えることが、自分の生命や大切な人の生命を守ることに繋がります。

▼お問い合わせ先

TEL 096・234・1167
町くらし安全推進室

■自主防災組織で高める防災力

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という共通の目的を持って、地域の人たちが自発的に結成する防災のための組織です。

災害発生時に消防団などが現場に到着するまでの間、地域で協力しながら人命救助や消火活動をして、被

～地域で災害に対する備えを～

害を最小限にとどめるために作られています。

この自主防災組織は災害発生時に頼りになる地域住民同士の助け合いを組織化したものです。

皆さんの地区でも自主防災組織を設立して、地域の防災力を高めませんか。



▲防災訓練を実施する西寒野区自主防災組織

令和元年度 甲佐町税納期限のお知らせ

納付期限	固定資産税		軽自動車税	町民税 (普通徴収)	国民健康保険税 (普通徴収)
	4期※	10期			
5月7日(火)	第1期				
5月31日(金)			全期		
7月1日(月)		第1期		第1期	第1期
7月31日(水)	第2期	第2期		第2期	第2期
9月2日(月)		第3期		第3期	第3期
9月30日(月)		第4期		第4期	第4期
10月31日(木)		第5期		第5期	第5期
12月2日(月)		第6期		第6期	第6期
12月20日(金)	第3期	第7期		第7期	第7期
1月31日(金)		第8期		第8期	第8期
3月2日(月)	第4期	第9期		第9期	第9期
3月31日(火)		第10期		第10期	第10期

■口座振替を申し込まれている方は、毎月28日(12月は18日)に振替されます。
(28日が金融機関の休業日の場合は、翌営業日)

■12月は納期限12月20日(金)、口座振替日12月18日(水)になります。

※固定資産税(4期)は、法人および町内に住所を有しない個人の方が対象となります。

町税などの期限内納付にご協力ください

住民負担の公平と徴収向上を目指して他自治体と連携



▲併任職員の辞令交付に臨む本町税務職員

●滞納は住民負担の公平性を欠く行為

町民の皆さんに納めていた町税は、福祉や教育、道路整備をはじめとする行政サービスの貴重な財源です。安心して生活できる環境づくりのため、町税の期限内納付にご協力をお願いします。町税の滞納は、期限内に納付していただいている大多数の善良な納税義務者との公平性を欠く行為であり、督促状や催告状の送付など不要な経費に大切な税金を使うことにつながります。町の財政を圧迫し、充実した住民サービス

に支障をきたすことにもなりかねません。

●他自治体と連携して税の徴収向上を図る

町では、住民負担の公平を図り、昨今の厳しい財政事情の中で徴収を確保することを目的として、嘉島町、御船町、美里町、山都町、県の5団体と連携して滞納整理事務の効率化・合理化などに取り組んでいます。

本町を含めた6団体の税務職員を併任職員として相互に派遣することで、悪質な滞納者への差し押さえや差し押さえ財産の公売会を合同で実施し、徴収のさらなる向上を図っています。

やむを得ない事情で期限内納付が困難な場合は、そのまま放置せず、事前に町税務課まで連絡のうえ、ご相談ください。

▼お問い合わせ先

町税務課

☎096・234・1112
(内線114)

子育て世帯、新婚世帯を支援

子育て支援住宅の入居者を募集します

町では、甲佐地区で建設中の子育て支援住宅「ヴェルデ甲佐」(20戸)の入居者を募集します。入居資格と所得基

準を満たす希望者は、必要書類をご準備のうえ、7月12日(金)午後5時までに町建設課まで提出してください。

●子育て支援住宅への入居は9月開始予定

町が8月末の完成を目指して整備中の子育て支援住宅は、鉄筋コンクリート造、地上3階建て。2LDK、住居面積73平方メートルです。20戸と子育てサロンとしての集会室を建設します。子育て支援住宅への入居は、9月開始を予定しています。

また、町では子育て世帯や新婚世帯を支援するため、子育て支援住宅入居者を対象に、条件に応じて家賃の減額を行います。

子育て支援住宅への入居申請や家賃減額などの詳細については、町建設課までお問い合わせください。

▼お問い合わせ先

町建設課

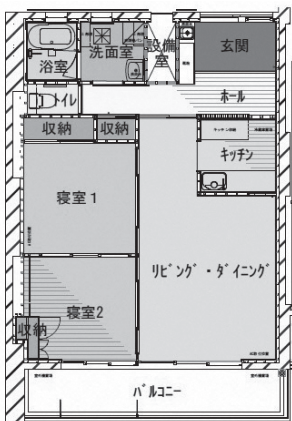
096-234-1183

子育て支援住宅への入居資格・所得基準と申請必要書類

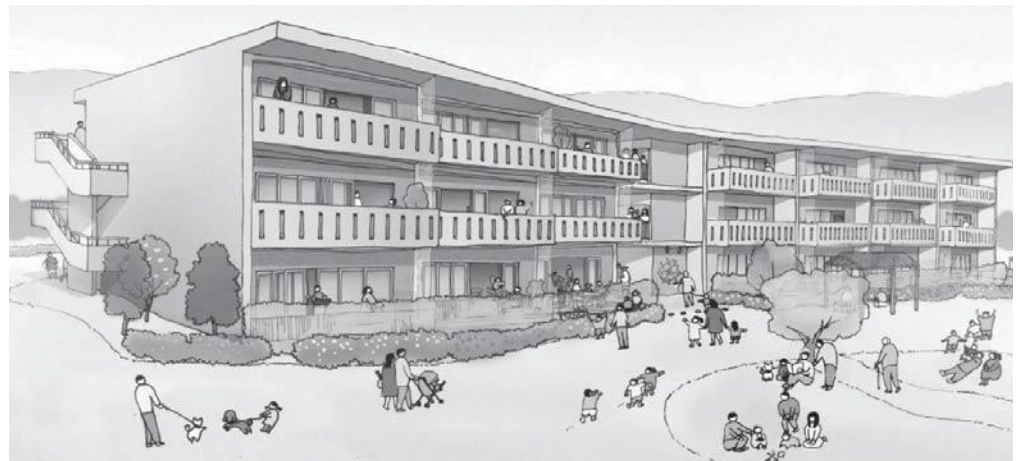
入居資格	<ul style="list-style-type: none"> ①「子育て世帯」(同居者に18歳未満のもの、または妊娠しているものがいる世帯)または「新婚世帯」(配偶者(事実婚、婚約予定を含む)を得て5年以内の世帯)であること ②暴力団でないこと ③自ら居住するための住居であり、同居親族があること ④地方税等を滞納していないこと
所得基準	収入月額が158,000円以上387,000円以下 (「世帯」の年間所得額から各種控除額を差し引いて12(か月)で割った額)
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> ①入居申込書 ②入居予定者全員分の「住民票謄本」、「所得証明書」、「滞納のない証明書」 ③婚姻証明書(結婚予定の方のみ) ④その他必要書類

子育て支援住宅の家賃減額条件	減額後の家賃
(減額なしの場合)	(月額64,000円)
①新婚世帯で夫婦のいずれもが40歳未満の世帯または妊娠しているものがいる世帯	月額52,000円
②子育て世帯で18歳未満の子が1人のとき	月額47,000円
③子育て世帯で18歳未満の子が2人のとき	月額44,000円
④子育て世帯で18歳未満の子が3人のとき	月額42,000円

※ 別途、共益費(月額4,000円)、駐車場代(月額1,500円)が必要です。



▲間取り図(2LDK、住居面積73㎡)





▼本町特産のニラを使った商品などを買い求める来場者



や「ニラガパオライス」などが店頭
に並び、来場者は
出来立てを買い求
めました。
同委員会の長尾
委員長は「今後も
このようなイベン
トを定期的に開催
していきたいです。
イベントを通して、
ろくじ館への来館
者が増え、地元産
の農産物の販売に
つながれば」と今
後の抱負を語りま
した。

10連休を楽しもう

「こうさんもん&ニラマルシェ!!」を初開催

4月29日(月)～5月2日
(木)の4日間、町農業研修
センター「ろくじ館」前駐車
場で、「こうさんもん&ニラ
マルシェ!!」が初めて開催さ
れました。

本町特産のニラを使った食
品や甲佐ブランド「こうさん
もん」認定品などを知っても
らい、ろくじ館の集客につな
げようと同館を運営する青空
市場運営委員会(長尾耕一委
員長)が主催。

会場では、こうさんもん認
定品の「にらメンコ。」や
「ニラのおやき」をはじめ、
町内の団体や飲食店が開発し
た「ニララー油」

地域スポーツの発展に尽力

上益城郡スポーツ推進委員功労者表彰

4月13日(土)御船町スポーツセンター
で開催された平成31年度上益城郡スポーツ
推進委員協議会総会で、町推進委員を務める
岡本泰文さん(辺場区)が功労者表彰を受け
られました。

スポーツ推進委員は、地域スポーツの健全
な普及発展のために教育委員会などの団体と
協力しスポーツ全般の推進に取り組みます。

岡本さんは7年間、スポーツ推進委員とし
て地域のスポーツ活動の振興に努められたこ
とが評価されての表彰となりました。



▲功労者表彰を受けられた岡本泰文さん



◀本町の魅力について話し合う参加者

地域の宝を見つけよう

まちづくりワークショップを開催

5月10日(金) DAYSCA
F E T キノネ(下横田)でまち
づくりワークショップが開催さ
れました。
同イベントは九州財務局が地
域活性化に向けた意識改革と人
材育成の場、地域をつなぐ場と
して考案し、各地域で実施。
他地域で開催されたワーク
ショップに参加した本町住民の
山内美紀さん(北早川区)と田
上和美さん(南三箇区)が本町
でも実施できないかと同局や町
などに呼び掛け、開催。同局や
町、地域住民など約40人が参加
し「地域の宝さがし」をテーマ
に、本町のまちづくりについて
グループワークを行いました。

本町出身者が集い故郷を思う

第26回東京甲佐会総会および懇親会

4月20日（土）東京都渋谷区の国学院大学キャンパスで、第26回東京甲佐会総会および懇親会が開催されました。

同会（蜂谷和明会長）は、主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、会員相互の親睦と故郷である本町との交流や情報交換などを目的に平成6年に設立。

総会では、第43回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会への協賛金寄贈などが報告され、本町にゆかりのある約70人の参加者は故郷への思いを温め交流を図りました。



▲参加者を前にあいさつをする蜂谷和明会長



▲横断歩道を渡る実技訓練を行う甲佐小児童たち

交通ルールを守ろう

甲佐小学校で交通安全教室を開催

5月9日（木）甲佐小学校（永瀬善久校長205人）で交通安全教室が開催されました。同教室は、正しい交通ルールを児童が学び、事故の発生を防ぐことを目的として、町と御船警察署が開催。児童たちは御船署員から交通マナーや自転車の点検方法、自転車の正しい乗り方について講話を受けた後、体育館で訓練用の信号機を設置して作られた交差点を横断する実技訓練に臨みました。

訓練後、山下慈雨さん（西寒野区、6年）が「事故に遭わないように交通ルールを守ります」と決意の言葉を述べました。

本町特産品の生産現場を学ぶ

甲佐高生徒がニラの収穫を体験



▲「こうさんもん」認定商品のあられの材料となるニラを慣れない鎌を使って丁寧に収穫する甲佐高生徒たち

5月15日（水）境栄一郎さん（上豊内）のビニールハウスで、県立甲佐高等学校（本山幸広校長80人）のビジネス情報科2年生9人が本町特産のニラの収穫を体験しました。

地域社会と連携した学校づくりを目指す同校が、本町特産のニラ生産現場を学び、地域貢献の可能性を探る授業の一環として実施。

生徒たちは50～60センチに成長した、生産調整で出荷されないニラを境さんの指導を受けながら丁寧に刈り取り、1時間ほどで約50センチを収穫しました。

収穫したニラは、学校に持ち帰って泥などを取り除き、廊下で一晩乾燥させた後、加工業者が粉末加工。木村のあられ甲佐工場（芝原）で、甲佐ブランド「こうさんもん」認定品の「ニラみそあられ」「ニラえびあられ」の材料として使用されます。

収穫を体験した田嶋滯花さんは「鎌の使い方が難しかったです。今後、ニラを使った新しい商品開発をやってみたいです」と話しました。

7月からの町の各種健診を実施します



健診は健康づくりの第一歩です

■町の健診で自分の身体の状態をチェックしてみませんか

健診は、自分では気付くことのできない身体の状態を確認することができ、大切な機会です。毎年受診することで自分の健康状態の変化を確認できるなど、健診にはたくさんの「メリット」があります。

町では、7月から町総合保健福祉センターで、特定健診、若者健診、後期高齢者健診などの各種健診を実施します。

町の健診では、国民健康保険被保険者と後期高齢者医療保険被保険者の受診費用を町が一部負担します。

個人負担も少なく、済む町の健診をぜひご利用ください。

■町が実施する健診について

●特定健診・若者健診

▼実施期間

7月6日（土）～7月12日（金）

▼対象者

本町の国民健康保険に加入している20～74歳までの人

▼個人負担金

1,000円

▼健診内容

体格検査、血液検査、尿検査、血圧測定、心電図検査、医師の診察など

●後期高齢者健診

▼実施期間

8月16日（金）～8月18日（日）

▼対象者

75歳以上の人および一定の障害がある65歳以上の後期高齢者医療被保険者

▼個人負担金

800円

▼健診内容

体格検査、血液検査、尿検査、血圧測定、心電図検査、医師の診察など

※各種健診と併せて「がん検診」も実施しますが、検査の種類により対象年齢と個人負担金が異なります。

■はつらつリハビリ教室を開催しています

町では、『はつらつリハビリ教室』（通所型サービスク事業）を開催しています。この教室は、住み慣れた地域でいきいきと自分らしい暮らしを続け、要介護状態にならないように、自身の体の状態を改善するために開催しています。最近、足腰が弱くなってきたという方などにおすすめの教室です。

▼開催日時

毎週水曜日

午前9時30分～午前11時30分

▼会場・場所

町総合保健福祉センター「鮎緑」

▼内多目的ホール

▼対象者

65歳以上の方で、

- ・要支援1・2の介護認定を受けている方

- ・基本チェックリスト該当者

※基本チェックリストとは、介護予防の支援が必要かどうかを調べるための質問票（全国統一様式）のことです。

▼定員

定員30名

▼申し込み期間または期限

随時受付中

▼費用

1回300円

▼内容

- ・リハビリテーション専門職が、自宅でできる筋力トレーニングや体操などの指導を行います。
- ・口腔に関することや栄養に関することの講義、指導も月に1回行います。
- ・教室へは16回参加していただき、教室卒業となりますが、自宅でできるトレーニングなどを学べるため、参加者に好評です。

▼特記事項

交通手段がない方または来所困難な方は、送迎もあります。

▼お申込み・お問い合わせ先

教室への参加申込みや詳しい内容などについては、町総合保健福祉センターまで、お問い合わせください。

はつらつリハビリ教室に参加しませんか



教室に参加して自身の体を改善しましょう

災害義援金

新たに世帯へ課税を課税非課税世帯へ



詳しくは住民生活課へお尋ねください

■平成30年度住民税非課税世帯へ新たに義援金を配分

県義援金配分委員会では、住民税非課税世帯を対象に、新たな義援金の配分を決定しました。

●新たな配分の対象

平成28年熊本地震により被害を受けた住家が「全壊」「大規模半壊」「半壊」の判定を受けている世帯または解体世帯として被災者生活再建支援金の支給を受けられた世帯のうち、平成30年度住民税が非課税である世帯が新たな義援金の配分対象となります。

ただし、住民税課税世帯の扶養親族等のみで構成される世帯（高齢者または障がい者が含まれる世帯は除く）は対象となりません。

※配分の対象となる世帯は、り災証明書上での世帯をいいます。

※扶養親族等とは、地方税法の規定による控除対象配偶者、配偶者特別控除における配偶者、扶養親族、青色事業専従者および白色事業専従者をいいます。

●新たな配分基準額

・被害を受けた住家が「全壊」判定を受けた世帯または解体世帯20万円

・被害を受けた住家が「大規模半壊」「半壊」判定を受けた世帯10万円

●申請受付について

対象世帯は、申請が必要です。これまでの義援金配分の申請が済んでいる場合でも新たに申請が必要です。

▼申請期限

令和2年3月31日（火）（土・日曜日および祝日を除く）

▼受付場所

町住民生活課窓口

※申請に必要なものなどの詳細は、お問い合わせください。

▼お問い合わせ先

町住民生活課
☎096-234-1113
(内線105)

町住民生活課 ☎096-234-1113(内線105)

資源ごみ

■資源ごみの回収品目が一部変更になりました

町では、一般家庭から出るごみを細分類化することにより、ごみ減量化に取り組んでいます。

平成31年4月から一部の回収品目において次の通り変更になりました。

●NTT電話帳

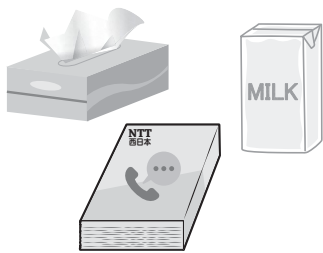
4月より「本・雑誌」として回収を行っています。

ビニール袋などで電話帳が包装されている場合は、袋から出して他の本や雑誌などと一緒にひもで結束して出してください。

●紙パック

これまでは500ミリ以上の牛

資源ごみの回収品目



詳しくは環境衛生課へお尋ねください

乳パックに限って回収していましたが、4月より200ミリ以上の紙パック（牛乳・ジュース・清涼飲料水・酒類）であれば「紙パック類」として回収の対象となります。

これまで通り、洗浄したものを開き、プラスチック製の注ぎ口は取り除いてください。内側がアルミ加工された紙パックも回収します。

紙袋にまとめて入れてあるものも4月より回収の対象となりました。ティッシュや菓子などの空箱は開いて紐で縛るか、紙袋にまとめて「紙製品」として出してください。

●紙製品

紙袋にまとめて入れてあるものも4月より回収の対象となりました。ティッシュや菓子などの空箱は開いて紐で縛るか、紙袋にまとめて「紙製品」として出してください。

「ダンボール」とは分別が必要ですのでご注意ください。

■ごみ出し時の注意点

雨天時には「本・雑誌」「紙パック類」「紙製品」「食品トレイ」「新聞・チラシ」「ダンボール」「古着」は回収しません。

詳しくは、町環境衛生課へお問い合わせください。

▼お問い合わせ先

町環境衛生課
☎096-234-1169

町環境衛生課 ☎096-234-1169

Library

町生涯学習センター図書室からの6月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■ 寄贈図書のご紹介

甲佐町出身で、元横浜DeNAベイスターズ投手の高崎健太郎さんより、スポーツ関連の新刊図書27冊をご寄贈いただきました。野球・サッカー・バスケットボールなどの競技に関するものや、ストレッチや体作り、メンタル面のトレーニングに関するものなどで、一般書と小中学生向けの児童書がそろっています。ぜひ、ご利用ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

時代をまたいで疾走するエンターテインメント小説 伊坂 幸太郎著 / 『シーソーモンスター』



中央公論社
小説

バブルに浮かれる昭和の日本。一見どこにでもある平凡な家庭に、ある日、大きな疑念をもたらす家族の過去…。2050年、1人の手紙配達人を巻き込んだ世界平和の危機とは…。時代の違う2編からなる物語ですが、共通の人物によって繋がりがあり、スピード感のあるストーリー展開に引き込まれてしまう1冊です。

川を舞台に、水の循環・命のつながりを考える絵本 真珠 まりこ作・絵 / 『もったいないばあさんかわをゆく』



講談社
児童書

川へゴミをばいっとしようとする男の子。そこへもったいないばあさんが「もったいない」とあらわれました。どうして川へのゴミ捨てがもったいないのか、川の上流へ見に行きます。上流で出会った川のあかちゃんといっしょに下流へと旅をしていくと、見えてきたのは…。川を舞台に、水の循環・命のつながりを考える絵本です。

わたしたち日本人は、いま、どう生きるべきなのか 青山 繁晴著 / 『不安ノ解体』



飛鳥新社
一般書

日本を鉄鎖から遂に解き放ち、新しい御代はあなたと生きる。民間の専門家から突如、国会議員となった著者が、国会の内部で見た日本の実態とは。苦闘千里が深まる道程をリアルタイムでつづる。わたしたち日本人は、いま、どう生きるべきなのか。わが国を覆う「不安」を「解体」し、未来に希望を与える話題の1冊です。

ささっと作れて、気の利いた、おいしい123品 真藤 舞衣子著 / 『箸休め』



学研プラス
教養娯楽

食事の途中で「ちょっと違った味を楽しみたい」そんなときにいただく「箸休め」。小さなおかずやおつまみ、漬け物など、簡単に作れて気の利いた、おいしい123品。和風、洋風、中華風、エスニック風に分けて、それぞれのレシピを紹介しています。いつものメニューにささっと1皿足せる、とても役立つおすすめの本1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■ 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

わたしが「ルルとララのミルクプリン」を読んだきっかけは、学校にも、ルルとララシリーズがあって、べつのおかしをつくっているルルとララシリーズを読んでみたいと思ったからです。

この本は、ルルとララが自分の白い毛皮がきらいなねこ「スノーウィ」のおたん生日にミルクプリンをつくります。でも、ミルクプリンは白だから、色やかざりのくふうをするというお話です。

今月の案内人



岸元 七海さん
〔下横田区〕

わたしがこの本を読

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ルルとララのミルクプリン』(あびるやすこ作)

ママねから、むすめのスノーウィにお菓子を作ってほしいと頼まれたルルとララが、「まっ白」だけどすてきなケーキをつくるうとチャレンジします。

んで心にのこったことは二つあります。

一つ目は、白くならないように、フルーツを入れて色をつけたところ。きれいな色になって、おいしそうでした。

二つ目は、白いミルクプリンに、食べることができるお花は、さいているお花とにていてとてもすてきでした。

わたしはこの本を読んで、本当に、ルルとララが作ったミルク

プリンを食べてみたいと思いました

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 町民大学開講のお知らせ 講演会を開催します

●開催日時

6月30日(日)
午前10時～正午

●会場

町生涯学習センター・ホール

●演題

皇国地誌(郡村誌)の紹介
～明治の暮らしをふりかえる～

●講師

元甲佐町史編集委員長
佐藤 征子 さん(仁田子区)

※新甲佐町史歴史研修会も兼ねて
開催します。多くの皆さんのご
参加をお待ちしています。



●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)



ラダンス教室(ポハイケア
ロハ・フラミナミA)の皆
さんは、きらびやかな衣装
を身にまとい日ごろの練



▲ダンスを披露するフラダンス
教室の皆さん

水彩画、書道、水墨画、
パッチワーク、手編み教室、
生け花の作品を展示。受講
者自慢の作品が並びました。
またステージでは、大正

最後に町民コーラスの井
芹ミツエさん(岩下二区)
の指揮で「みかんの花咲く
丘」と「四季の抒情」を全
員で歌いました。

4月20日(土)町生涯学
習センターで、公民館自主
講座発表会を開催しました。
ギャラリーモールでは、

相撲甚句、町民コーラスの
各団体が練習成果を披露。
カラフルな衣装や華麗なダ
ンス、美しい音色に会場は
包まれました。

町公民館自主講座 自主講座発表会を開催

参加者は満開の桜の花び
らが舞う中、和やかにお弁
当を食べたりカラオケ大会
で自慢の美声を披露したり
して、おだやかな春の1日
を楽しみました。



▲オカリナの演奏を披露する自
主講座の受講者の皆さん

習の成果を披露しました。
ダンスの後には来場者から
たくさん拍手と歓声が上
がり、会場は大いに盛り上
がりました。

琴、フラダンス、社交ダン
ス、朗読教室、ひまわりダ
ンス、3B体操、オカリナ、
レクリエーションダンス、

町公民館出前講座 フラダンスを披露

4月7日(日)町公民館
出前講座が「第51回にたご
橋まつり」に参加しました。
同まつりは、益城橋上流右
岸の堤防で開催され、地域
住民など120人が参加。
同講座として参加したフ

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■人権問題は、毎日の生活の中 にあるものです

「人権」というと、つい難しいもの
だと思ってしまいませんか。次のよ
うな場面が、あなたのまわりで起
こっているかもしれません。

●バスの中でスマートフォンに夢中
だったせいで、妊婦さんが乗ってき
たのに全然気づかなかった。妊婦さ
んが立ったままで、どうして誰も気
づかないんだろうと思ったら、周り
の人もみんなスマートフォンを見て
いたり、本を読んだりしていた。

⇒ときどきは周りを見てみません
か? 気づかなかったことに気づく
ことができるかもしれません。

●路上に止められた自転車、点字
ブロックをふさいでいる。
⇒視覚障がい者の中には、白杖を
使って移動されている方も多くい
らっしゃいます。点字ブロックをた
どって移動されているところに自転
車が止められていると、視覚障がい
のある方が衝突する可能性があり、
本当に危険です。

●近所で空き巣事件があった。被害

に遭った人のうわさ話が、毎日聞こ
えてくる。

⇒犯罪の被害者やその家族は、直接
的な被害だけでなく、近隣住民等周
囲の人々の言動や報道機関による取
材・報道等で二次被害を受けること
もあります。

～熊本県人権情報誌

「コッコ通信 vol.36」より～

生活支援コーディネーターについてご存知ですか

◆生活支援コーディネーターはなぜ必要か

1947年から1949年の第1次ベビーブーム期に生まれた団塊の世代の人口は800万人にのぼるといわれています。その団塊の世代の皆さんが2025年には75歳に到達され、日本人の4人に1人が後期高齢者となる見込みです。

高齢者の増加に伴って、外出支援や家事支援などの生活支援や介護予防サービスの必要性が高まることが予想されます。誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるように、皆さんの在宅生活を地域で支える仕組みが必要となります。

す。その仕組みづくりを進めていくのが、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）です。

具体的には、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティアやNPO法人、民間企業、社会福祉法人などの生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを通して生活支援の体制整備を目指します。

今後、生活支援コーディネーターを中心に、民間企業やNPO法人、医療機関、社会福祉法人、地域住民などからなる協議体（地域支え合い会議）をつくり、利用者となる住民のニーズと地域のサービス資源のマッチングや情報

集約を行います。協議会の設置を通して、地域の様々な課題やその地域ならではの対応策を協議し、民間とも協働して支援体制の構築を図っています。

◆本町の生活支援コーディネーターの活動

本町では、介護予防教室を行政区単位で取り組んでいただいています。生活支援コーディネーターは、各行政区の活動を支援することで介護予防活動の充実に取り組んでいます。

・介護予防教室の運営・立ち上げを支援

生活支援コーディネーターは、介護予防教室を実施されている行政区の運営支援を行っています。また、新規で介護予防教室を立ち上げようという行政区については、地域住民への介護予防に関する勉強会や活動内容の指導などの

立ち上げ支援を行っています。介護予防活動支援事業の補助金活用に関する周知や活用支援を行い、より多くの高齢者が介護予防活動に参加するための支援なども行っています。

・介護予防活動の継続と地域間交流の促進を図る

各行政区の介護予防の取り組みについて発表の場をつくり、行政区同士での意見交換や交流の機会を提供しています。地域間の交流を通して、介護予防活動の持続的な運営を支援しています。

◆協議体での議論を行い、今後の方針を決定

今年3月に町総合保健福祉センターにて生活支援コーディネーター、医療機関の関係者、ケアマネージャー、甲佐町商工会、町区長会長などが参加し、協議体を開催しました。

会議では、参加者が各自取り組んでいる事業について紹介し、立場を越えて情報を共有。今後、「高齢者が活力にあふれ、地域の支え合いで安心・安全・健康に暮らせる町」を目指して、本町で取り組むべき優先課題として次の3つを決定しました。

- ① 交流の場の継続
- ② 食生活の維持・改善
- ③ 短距離の交通手段の検討

あゆみだよりの話

介護

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
福田 久美子 保健師

団塊の世代が後期高齢者となる2025年が迫る中、生活支援や介護予防サービスの体制整備は急務です。多くの課題解決のため、様々な得意分野を持つ地域の皆さん同士のマッチングを図るのが生活支援コーディネーターの役割です。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



橋本 ^{ここな}心奈ちゃん (1歳)

父・俊宏さん 母・風花さん
(浅井区)

これからも楽しい毎日を
一緒に過ごそうね。

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎096-235-8711

6・7月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

6月20日(木) 午前9時

7月25日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

6月20日(木) 午前10時

7月25日(木) 午前10時

+ ピカピカ1歳教室

6月7日(金) 午前9時30分

+ 1歳6か月児健診

7月2日(火) 午後1時

+ すくすく2歳児子育て相談

6月21日(金) 午前9時20分

+ 3歳児健診

7月2日(火) 午後1時20分

Child-Care

6月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園

☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園

☎096-234-0013

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園

☎096-234-0519

21日(金) お誕生会

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園

☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所

☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 甲佐町子育て支援センター (竜野保育園内)

☎096-234-0305

3日(月) 牛乳パックで製作

5日(水) お絵かき

7日(金) 小麦粉粘土遊び

10日(月) おやつ作り(カップケーキ)

12日(水) 園児と交流

14日(金) 父の日のプレゼント作り

17日(月) 風船遊び

19日(水) ままごと遊び

21日(金) お誕生会(要予約)

24日(月) お人形遊び

26日(水) 七夕の飾りを作ろう

28日(金) ブロック遊び

育児相談(電話・面接)
月～金曜日 午前9時30分～午後4時
体験保育
月・水・金曜日 午前9時30分～正午

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先

・町総合保健福祉センター
・町地域包括支援センター
(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

Enterprise

甲佐町進出企業協議会だより

社員同士の距離が近く家庭的な職場です



委託業務担当
青波 大志さん

電気関係の資格を活かせると考え入社しました。九州電力(株)からの委託業務が設計書どおりに施工できているか確認し、工事費を精算する仕事をしています。活気ある職場で、楽しく働いています。数多くのことを学び、成長につなげていきたいです。



本町への進出企業のご紹介

西邦電気工事株式会社 甲佐営業所

昭和58年に入社し、平成28年、甲佐営業所長に就任。常に安全と健康を最優先し、災害のない明るい職場づくりを目指します。



井芹 明
所長

事業所概要

- 所在地 甲佐町大字糸田1971-1
- 従業員 32人
- 電話番号 096-234-1651
- URL <http://www.seiho-denki.com>

社会に明かりを灯し続け、生活環境を守る

■安心して暮らせる生活環境を守る確かな技術

西邦電気工事(株)甲佐営業所は、平成7年11月に御船営業所から本町に新築移転されました。

同社は、県内に3つある九州電力(株)の配電線工事委託会社の1つとして、主に配電線路や電力量計器の設置・取替工事といった事業を展開されています。

人々が安心して暮らせる生活を提供し続けることを信念とし、ライフラインである電力の安定供給や災害などによる停電時の早期復旧にも、安全を優先しながら高度な技術で取り組まれています。また、道路のポランテア清掃を定期的に行うなど、地域の安全にも尽力されています。

●お問い合わせ先

甲佐町進出企業協議会事務局
(町地域振興課内)

☎096-234-1154 (内線232)

Fitness Center

甲佐町フィットネスセンター

体の状態を知り、健康づくりを効果的に行いましょう

甲佐町フィットネスセンターには、年2回しか設置されない体組成測定機器が6月に設置予定です。

健康志向が高まる中、皆さんはご自身の体の状態をどれほどご存知でしょうか。「普段気になっているけど、よく分からない」という方には是非測定していただきたいのが「インボディ」です。インボ

今月の講師



池田 隆太郎さん
(健康運動実践指導者)

ディで測定するメリットは、①基礎代謝量・筋肉量・体脂肪量・身体年齢が分かること、②短時間(約30秒)で測定ができること、そして③測定結果をもとに同センターの専門スタッフから運動プログラムなどの個別アドバイスがもらえることです。同センターには、ウォーキングマシン4台、エアロバイク5台、上半身・下半身(腹筋・太もも等)を鍛えられるマシンが4台あり、ダンベルやバランスボールも自由にご利用いただけます。

また、エアロバイクやサーキットトレーニング、ストレッチなどの集

インボディ



▲インボディでの測定で、簡単に自身の体の状態が分かります。

団プログラムもあり、初心者の方でも安心して楽しく体を動かすことができます。

インボディでの測定をきっかけに、健康づくりを始めてみませんか。

Town Development

甲佐町まちづくり協議会

やな場で味わう非日常 地域の歴史的資源を活かす取り組み

■やな場の魅力を再発信

5月25日（土）甲佐町やな場で、「やな遊び2019夏」を開催しました。

甲佐のやな場は、肥後藩主の細川忠利侯の命により造られたもので、その後、代々の藩主が鮎を楽しみに訪れる場所として広く知られるようになりました。

現在は6月～11月の期間鮎料理を提供しているやな場ですが、営業期間外の楽



▲普段とは異なるやな場でのひと時を過ごす町内外からの来場者

しみの1つとして、昨年引き続き甲佐町まちづくり協議会のメンバーである（一社）パレットが企画。

普段は鮎料理が楽しめる会場では、ヨガなどの体験教室や地元農家が採れたての野菜を販売。コーヒーやハンバーガー、カレーなどの飲食物のほか、カップや小皿などの雑貨の販売も行われ、町内外から訪れた来場者は、流れ落ちる水音と茅葺屋根のあずま屋が醸し

出す非日常を楽しみました。

■地域の資源を活かしたまちづくり

（一社）パレットでは、今回のやな遊びのような地域資源を活用したまちづくりを目的に活動しており、本年度も緑川を使った体験アクティビティ開発などを計画しています。

本町の魅力を活かすまちづくり

今回で2回目となるやな遊びですが、5月とは思えないような暑さの中、多くの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。まちづくりの一環として、

甲佐町の代表的な観光資源であるやな場で、非日常を体験できるようなイベントを今後も開催できればと考えていますので、ご期待ください。



まちづくり協議会
米原 雄二 氏

Traditional House Renovation

古民家再生

本年度最初の古民家改修ワークショップを開催

5月18日（土）・19日（日）仁田子の旧西村民俗資料館で、古民家改修ワークショップ（第1回）が昨年度に引き続き、開催されました。

第1日は、外壁の板壁づくりと竹木舞用竹割を実施。町内外から17人が参加しました。参加者は、板壁づくりと竹木舞用竹割作業の2班に分かれて作業開始。竹割作業は専用の竹割器を使いながら、参加者同士が協力しながら作業を行いました。板壁づくりは大工さんから鉋などの使い方を学びながら作成しました。

第2日は、11人の参加者と土壁用の土づくりとわら切り作業、竹木

第2回古民家改修ワークショップ

【開催日】6月15日（土）・16日（日）

【内容】床張りを予定しています

※事前申し込みが必要です。詳しくは、お尋ねください



▲道具の使い方を学ぶ参加者

舞掻きを実施しました。土壁用の土づくりのため前回のワークショップ時につくった土を再度踏み混ぜ、発酵を促しました。午後は、前日に作った竹木舞用の細竹を編んで土壁の下地を作成。参加者は作業を通じた交流を行いました。

次回は、断熱材を入れて床張りを行う予定です。皆様の参加をお待ちしています。

●お問い合わせ先

町地域振興課

☎096-234-1154（内線233）



お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会
(町生涯学習センター)
☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
(社)甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
(クリーンセンター)
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111 (代表)
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111 (代表)

町からのお知らせについては、詳しくは町公式サイトをご覧ください。
URL <https://www.town.kosa.kumamoto.jp/>

① お知らせ

昭和44年ご結婚のご夫婦へ
金婚夫婦表彰のお知らせ

熊本日日新聞社主催で例年執り行われております、金婚夫婦表彰に該当されるご夫婦を受け付けています。

各行政区の嘱託員(区長)に回覧での調査と取りまとめを依頼しています。

該当するご夫婦は、次の要領でお知らせください。

▼該当するご夫婦

昭和44年1月1日から同年12月31日までの間に結婚され、本年度満50年を迎えられるご夫婦

▼受付期間

7月10日(水)まで

▼連絡方法

回覧用の調査用紙に記入され、嘱託員(区長)にご提出いただくか、町総務課までご連絡

絡ください。

▼表彰式典などについて

8月下旬に熊本日日新聞紙上にご夫婦の氏名が掲載されます。また、町開催の表彰式を町生涯学習センター・ホールにて、9月4日(水)を行う予定です。

▼お問い合わせ先

町総務課
☎096・234・1114
(内線222)

介護保険負担限度額認定証の更新について

住民税非課税世帯の介護サービス利用者については、介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院)や、短期入所サービスを利用する場合の食費、部屋代の負担が軽減される「介護保険負担限度額認定証」を申請に基づき交付しております。現在お使いの認定証は7月

31日(水)で有効期間が切れますので、継続して利用される場合は更新が必要です。

▼交付要件

① 住民税非課税世帯であること

② 配偶者に住民税が課税されていないこと(この場合の「配偶者」は同居・別居を問いません)

③ 預貯金などの額が次の基準額を超えないこと

・ 配偶者がいる人

本人と配偶者の預貯金の合計が2千万円

・ 配偶者がいない人

1千万円

※負担段階の判定で、非課税年金(遺族年金や障害年金など)、収入も含めて判定

▼申し込み期間

6月3日(月)から

※継続して利用を希望される方は、申請月の初日までしか適用がさかのぼりませんので、早めの申請をお願いします。

します。

▼更新に必要なもの

・ 介護保険被保険者証

・ 印かん

・ 預貯金額が分かる通帳や有価証券などお持ちのものすべて(配偶者がいる方はその方の分も必要となります)のでご注意ください)

▼お問い合わせ先

町福祉課
☎096・234・1114
(内線142)

② 募集

ひとり親家庭の方の資格取得を支援します

これから働こうとする方の、働く上で必要な資格を習得し、就業を支援するため「医療事務&調剤薬局事務資格講座」の受講者を募集しています。▼募集対象者(次のいずれも満たす方)

doctor

日曜当番医

月 日	当番医	電話番号
6月2日	谷田病院	096-234-1248
6月9日	甲佐眼科クリニック	096-235-5600
6月16日	荒瀬病院	096-234-1161
6月23日	谷田病院	096-234-1248
6月30日	桃崎整形外科	096-235-8111

tax

町税などの滞納処分(4月分)

種 別	件数・金額など
捜 索	0件
差し押さえ件数	0件
公 売 回 数	0件
出 品 数	0件
滞納処分関連収入	58,992円

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第69回～

「鉾まつり」石坂 妙 町文化財保護委員 (吉田区)

宮内地区には古くから「鉾 (ほこ)まつり」というお祭りが伝わり、それは現在も続けられています。

今年も7月18日に広瀬と谷内の両行政区で「鉾まつり」が行われます。この祭りの発端(ほったん)は諸説(しょせつ)あるようですが、以前、悪さをする大ウナギ(蛇)や亀に困っていた村人たちを哀(あわ)れに思った福城寺(ふくじょうじ)(美里町)の観音(かんのん)様が退治してくださった、ということに由来(ゆらい)し、感謝を込めて祭りが始まったといわれています。

まず、福城寺の住職(じゅうしょく)により、7月14日にくじ引きが行われ、朝の座(迎え)と夕の座(送り)を決めます。その際の役割として、男性は露(つゆ)払い(迎え)、女性はその時に住職

に出す食事(お接待(せったい))の準備をするのが習(なら)わしと聞きました。そして、7月18日に住職が広瀬区と谷内区を訪れ、お経をあげるそうです。

少子高齢化が言われて久しいですが、「この先いつまで続けられるか不安だ」という心配の声も聞きました。これまでも「鉾まつり」を続けてこられたのは、並大抵の努力ではできなかったのではないかと思います。

この祭りがこれからもずっと続けられることを願います。

福城寺の住職がお経をあげる様子



■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
☎ 096-234-2447 (内線 322)

● 県内のひとり親家庭のお母さん、お父さん、寡婦の方(熊本市在住の方を除きます。)
● 希望する講習会の全日程に出席可能で、技能・資格取得に意欲のある方
▼ 受講期間
9月1日(日)～12月15日(日)

▼ 受講場所
松橋公民館
(宇城市松橋町松橋564)
▼ 申込先
町福祉課
▼ 申込期間
7月1日(月)～8月16日(日)

▼ (金) お問い合わせ先
熊本県母子家庭等就業・自立支援センター
☎ 096-3331-6736
▼ 人材データバンクに登録をお願いします
町教育委員会では、指導者および支援者を発掘し、育成

をするために「甲佐町生涯学習人材データバンク」を設置しています。
人材データバンクは、指導者および支援者を募集し、把握をすることで、指導者の資質向上のための研修会を紹介するなどの育成支援を行うとともに、さまざまな活動団体へ指導者の紹介ができるようにするものです。また、専門的指導ができなくても支援者として登録していただき、放課後の子どもたちの見守りやイベントでのボランティアなどで紹介ができるようにします。
本町では、小学校の社会体移行に伴う指導者やボランティア活動をする団体・グループの指導者が不足しています。これらの活動を円滑に実施するためには、指導者および支援者の協力が必要不可欠です。ご協力いただける方は、ぜひご登録ください。
登録については、町公式ウェブサイトおよび町教育委員会に登録申請書がありますので、ご記入の上、社会教育課までご提出ください。
▼ お問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎ 096-234-2447 (内線 325)

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量 (4月分)

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	237,480	10,620	22,500
資源ごみ	26,280	△1,920	△6,610
粗大ごみ	6,270	640	△590
合計	270,030	9,340	15,300

※単位：t

traffic safety

事件・事故件数

種別	発生件数	
	4月	年累計
人身事故	7	20
物損事故	14	55
盗難など	1	3

4月30日現在

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	0	(0)
原野	0	(0)
その他	0	(△1)
合計件数	0	(△1)

5月15日現在 (カッコ内は前年比較)

甲佐町総合型地域スポーツクラブ
「I・YOU スポーツ&カルチャークラブ」
6月のアユスポ・カレンダー



サッカー教室

サッカー教室の皆さん
練習がんばってます！

● **スポンジテニス&バドミントン**
 甲佐小体育館
 月曜日 午後7時30分

● **少年柔道**
 甲佐中武道館「甲心館」
 ・中学生の部
 月・水・木・金・日曜日
 ・小学生の部
 月・水・金曜日
 いずれも午後7時

● **卓球**
 町生涯学習センター・ホール
 水・金曜日 午後7時30分

● **ノルディックウォーキング教室**
 白旗小体育館
 第1・3月曜日 午後7時
 乙女小体育館
 第1・2・3金曜日 午後7時

● **トランポリン教室**
 特別養護老人ホーム桜の丘
 金曜日 午後5時30分

● **サッカー教室**
 甲佐中グラウンド など
 火・木・金曜日 午後7時

● **女子サッカー教室**
 甲佐中グラウンド など
 水・金曜日 午後7時30分

● **ジュニアバスケット教室**
 ※ 場所・時間ともに不定期の為
 お問い合わせください。

■ **お問い合わせ先**
 I・YOU(アユ)スポーツ&カルチャークラブ事務局
 (町教育委員会社会教育課内)
 ☎096-234-2447(内線325)

① お知らせ

百日咳(せき)にご注意ください

県御船保健所管内において、昨年未から百日咳(せき)発生源出数が増加傾向にあり、今後さらなる増加が懸念されています。

百日咳とは、咳を主な症状とする感染症です。咳やくしゃみで飛ぶしぶきに菌が含まれており、感染力が強く、しばしば集団発生が見られます。予防接種の効果は4〜12年で弱くなると言われていますので、乳幼児期に予防接種をしていても小学生以上では感染することがあります。治療には抗生物質を内服します。

1歳以下の小さなお子さんに感染すると、重症化するこ

とがあります。小さなお子さんを守るためには、予防接種が大切です。特に、予防接種前の小さなお子さんへの感染を防ぐために、小学生以上のお子さんや大人の方も、1〜2週間以上咳症状が続くときは、受診して治療を行いまししょう。またマスクを着けるなど、咳エチケットを徹底しましょう。

▼お問い合わせ先
 御船保健所
 ☎096-282-0016

野良猫への無責任なエサやり防止について

野良猫に間違った世話をしてしまうと、近隣とのトラブルにつながり猫にとつても不幸な結果を招きかねません。

猫が増えないよう避妊去勢を徹底するとともに、エサを与え

る場合は決まった時間・場所

で対面で行うようにし、置きエサ

は絶対やめましょう。

また、県では、野良猫の避妊去勢手術費用の補助を行っています。詳しくは、お近くの保健所にお問い合わせください。

▼お問い合わせ先
 御船保健所
 ☎096-282-0016

熊本県調理師試験を実施します

熊本県調理師試験を次のとおり実施します。

- ▼試験期日
8月28日(水)
- ▼試験会場
公立大学法人熊本県立大学
- ▼受験資格
中学校卒業程度の学歴を持ち、飲食店や給食施設などで2年以上調理業務に従事した経験のある方
- ▼願書配布
県保健所、県健康づくり推進課などで配布

県保健所、県健康づくり推進課などで配布

▼願書受付
6月10日(月)〜14日(金)

▼提出先
県保健所

▼お問い合わせ先
県健康づくり推進課
☎096-333-2252

6月は「食育月間」です

「食」は、私たちが生きていくうえで欠かせない命の源です。県では、「第3次熊本県健康食生活・食育推進計画(くまもと食で育む命・絆・夢プラン)」に基づき、食育の取り組みを進めています。

この機会に、食を楽しむことの大切さや食の持つ多様な役割など、家族や身近な人と大事な「食」について話し合ってみましょう。

▼お問い合わせ先
 県健康づくり推進課
 ☎096-333-2252

Sports

第5回甲佐町冬季ビーチボールバレー大会結果



▶優勝したダンテライオン(左)とスウィートフィッシュの皆さん

- 大会成績
・フリーの部 優勝 ダンテライオン
・50歳以上の部 優勝 スウィートフィッシュ
- 主催
甲佐町ビーチボールバレー協会(坂本敏博会長)
- 開催日
3月7日(木)・8日(金)
- 会場
甲佐小学校体育館

ご支援ありがとうございました

ふるさと甲佐 応援寄附金

ふるさと納税のお礼の品として贈呈している本町の特産品を紹介します。(サイトリニューアルのため準備の出来た返礼品から順次公開を再開します)



「あゆもなか」こうさんもん No.3
しっぽまであんがいったいばい
▶パン工房ふうさん
☎096-234-2112



「ポシドラ焼き」こうさんもん No.4
さわやかな梅ジャムのドラ焼き
▶(資)池田製菓舗
☎096-284-0118

▶町公式ウェブサイト
「ふるさと納税」ページ
URL <https://www.town.kosa.kumamoto.jp/q/aview/136/233.html>

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、ありがとうございます。

▶ご寄付いただいた皆様
お名前 住所
・島津 駿 様 北海道 ほか

▶令和元年度寄附金額合計
40,000円
(4月30日現在)

■お問い合わせ先
町地域振興課
☎096-234-1154 (内線232)

e 開催

熊本県子ども・若者総合 相談センター出張相談会

熊本県子ども・若者総合相談センターでは、若者やご家族などから様々な悩み(ニート、ひきこもり、不登校、就労、人間関係など)を受け、その方に合った支援機関をご紹介しています。

無料の相談会を開催しますのでお気軽にご相談ください。

▼相談日時

6月13日(木) 午前10時～午後4時(午後3時30分までにご来場ください)

▼会場

御船町カルチャーセンター
研修室

▼対象

主に15歳～40歳未満の方と
そのご家族、ご友人など

▼お問い合わせ先

熊本県子ども・若者総合相談センター
☎096-387-7000

保育士就職面談会 が開催されます

県社会福祉協議会では、保育士資格をお持ちの人はもちろん、子育て支援員や栄養士、調理師などとして保育園などで働きたい人を対象に、就職に向けた面談会を次のとおり開催します。参加費は無料です。県内各地の約40か所の保育所や認定こども園が集まりますので、ぜひご参加ください。

▼相談日時

6月23日(日) 午後1時30分～午後3時30分

▼会場

KKRホテル熊本
お問い合わせ先
県社会福祉協議会

☎096-322-8077

r 募集

失語症者向け意思疎通支援者 養成講習会受講者を募集

県では、失語症者が地域の一人として安心して暮らすことができるように失語症の症状を理解し、日常生活上の意思疎通支援を行える支援者を養成することを目的に講習会を7月下旬より行います。現在、受講者を募集していますので、詳しくは県ホームページをご覧ください。

▼お問い合わせ先

県社会福祉協議会
☎096-322-8077

c くらし安全

オレオレ詐欺に要注意

県内の高齢者宅に、息子の名

前を名乗ってお金を要求するオレオレ詐欺の電話や、警察官を名乗ってキャッシュカードの枚数や貯金残高などを聞き出す不審電話が相次いでいます。

被害に遭わないためのアドバース

- 一旦電話を切って、息子などの元々の携帯電話や自宅の電話にかけ直し確認する
- 現金やキャッシュカードを第三者に渡さない
- 他人に暗証番号などの個人情報を教えない
- 一人で判断せずに、家族や警察などに相談する

▼お問い合わせ先

御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096-282-1110

●消費者ホットライン

☎096-381-2567

●振り込め詐欺相談ホットライン

☎096-381-2567

●お問い合わせ先

御船地区防犯協会連合会
(御船警察署内)
☎096-282-1110

Event

町生涯学習センター・ギャラリーモール展示のお知らせ ～6月～

●伊藤一男写真展～旅～

▶期間 6月12日(水)～30日(日)

▶展示作品 ギリシアサントリニー島への旅を紹介

●お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課 ☎096-234-2447



5月の「布の絵本作品展」の様子



やな場（上豊内）

うたごよみ 水無月

「短歌」

渡辺幸士 選

幕開ける令和の時代末長く平和であれと皆が願えり
緒方 明美

耕運機使えぬ吾の畑仕事亡夫思いつつ鋤振り上ぐる
塚原 暁益

離れ住むまだ見ぬ曾孫の写メールに「令和」の御代の平和を願う
池田キヨ子

愛犬のチャチャが逝き後のいま感謝の念の蘇り来る
赤星 文子

きらきらと黄金の麦穂風に揺れ五月の空に雲の流るる
白梅 武人

競うごと新緑芽吹く里山は雄々しくありて春となりたり
吉永由紀子

朝々の散歩見かける老婦人いつしか姿見せなくなりぬ
内田乃武子

春が来て庭に茂りし雑草に目先行かずに花に手をやる
上村やす美

戦争も災害も無き世であれと令和の夜明け仰ぎて祈る
渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「温泉」

露天風呂隣の声が気に掛かる
林 雅之
温泉に寝そべって見る月の影
日隈 俊郎

「ちらっと」

野良猫がちらっと姿見せて消え
清川みどり
流し目に誘いちらっと見せている
川村 文子
札束の前で本音はちらっつけぬ
渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美 選

よつぽど 待ち長んかったママの声 広田みどり
よつぽど 人望なしで出馬なし 下山 千恵
よつぽど 顔に自信のあるとねえ 志垣 光
よつぽど 良か所だる皆行かす 佐藤 葵
よつぽど 此処が良かけん来るとだろ 平井やよい
よつぽど 親が見込うだ嫁だけん 長原 産賀
よつぽど 美味かつたろう並らさす 佐野 京
よつぽど 辞表だすほどセクハラか 光永 六
よつぽど 辛いみたいね休肝日 井元あざみ
よつぽど 寝た振りしようと思つたが 日高 美里
よつぽど 眠かつたら大あくび 上田 梅清
よつぽど 持つて来ただろ持参金 日隈 元良
よつぽど 借りに来らした米二合 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

4月11日(木)～5月10日(金)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
下横田	村田 成音	男	早 聡
豊内	松岡 稀央	男	陸
芝原	津田 莉桜	女	和 哉
早川	山下 陽	男	信 介
大町	志垣 斗真	男	健太郎
上早川	荒田 陽翔	男	尚 輝

marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
夫	西寒野	岩井 光
妻	大分県	歳納 功菜
夫	豊内	本田 倫宏
妻	宇城市	垂 愛由美
夫	大町	松永 浩太
妻	早川	宮本 佳奈
夫	船津	井元 俊介
妻	船津	岩木 衣菜
夫	佐賀県	南里 和哉
妻	芝原	津田 ゆか

condolence お悔やみ申し上げます

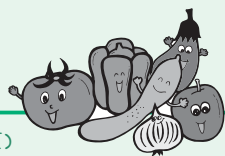
住所	氏名	年齢	世帯主
船津	松本 芳子	93	芳 子
西原	欽田 トミコ	88	桂一郎
西寒野	中島 玲子	87	裕 之
麻生原	久米 壯亞	86	成 子
緑町	三浦 康夫	97	博文
白旗	沖崎 幸夫	68	一 美
吉田	吉永 鐵雄	86	由紀子
糸田	緒方 孝英	59	純 子
西寒野	米村 繁子	94	繁 子
緑町	大隈 康正	74	弘 二

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,037	12
女	5,583	1
計	10,620	13
世帯数	4,283	14

平成31年4月30日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

しじみ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)



優れもの! シソの薬味

ご存知ですか?

そうめんや豆腐の薬味としてだけでなく、お肉と一緒に巻いて串焼きにしたいといろんな食べ方が出来る便利な野菜「青ジソ」ですが、実は栄養の宝庫だったってご存じですか?

青ジソには、ビタミン、ミネラル、ポリフェノール、食物繊維、ビタミンAとして代謝されるβカロテンなど多くの栄養素が含まれています。

特に食物繊維は腸の動きを活性化してくれま。消化器系のガンなどの病気の予防に効果があるのです。

さあ! 青ジソをサッと洗って冷蔵庫にストックしておきましょう。



作り方

- ①キュウリを洗ったら、太めの干切りにします。
 - ②青ジソは1枚ずつバラけさせて洗い、ザルにとってしっかり水切りをします。
 - ③②のシソを干切りにします。
 - ④ボウルに①と③を入れ、箸でシソとキュウリが均一になるように混ぜ合わせます。
 - ⑤④に調味料を加え、好みでラー油を足してください。これを密閉容器に移して冷蔵庫で30分程休ませます。
 - ⑥食べる直前に豆腐を切り分け、出来るだけ水を切ってから器に盛り付けます。豆腐の上に冷えた⑤を盛り付けて、最後にゴマをパラパラと振ったら出来上がりです。
- ※お好みでそうめんや冷やしうどんにもどうぞ。

材 料 (4人分)

キュウリ	2本
青ジソ	20枚
豆腐	2丁
しじみ	大さじ2.5
赤酒	小さじ2
ゴマ油	大さじ1
酢	大さじ2
煎りゴマ	大さじ1
ラー油	お好みで適量

若葉が萌える5月が終わり、雨の季節がやってきました。毎年のように豪雨災害の報道を目にする季節です。自然災害への備えを忘れてはいけません。

本町が経験した3年前の記録的短時間豪雨は、町内各地に多くの爪痕を残しました。普段から防災への意識を持ち、いざという時に備えましょう。

話は変わって、6月1日から本町を代表する観光資源のやな場で鮎料理がいただけます。毎年、町内外から多くの人を集めるこの施設をまちづくりに活用しようという取り組みが営業開始を前に行われました。

「やな遊び2019夏」と銘打って開催された催しは、町内外からの来場者でにぎわいました。夏本番を感じさせる暑さの中、涼やかな川音を聞きながらやな場の風情を味わう1日になりました。

(ト)

編集後記



池田 実弘
Ikeda Minoru

〔上豊内区〕

いけだ みのる / 町消防団長。
今年4月に団長に就任し、約
450人の団員の指揮を執る。
災害時でも実働できる体制づ
くりを目指して活動中。

本町の暮らしを守る消防団 非常時に備え課題に向き合う

「消防団は地域防災の中核であり、無くてはならない存在です。非常時以外でも、1人暮らしのお年寄りへの声掛けや地域活動への参加など、地域に密着した活動を行っています」と話すのは町消防団

長の池田実さん（上豊内区）。入団して26年。これまで分団長や副団長を歴任し、今年4月から団長に就任。本町の安全・安心を守るために団員を束ね、地域の防災力向上に取り組んでいる。

「これまでの消防団活動を通して、日常生活では接点のない地区の団員とのつながりも深まりました。消防団での活動は、私にとって生活の一部です」と笑顔を見せる池田さん。

「5年前には500人を超えていた団員数も年々減少しています。少子化だけでなく、コミュニティの変化による『自分たちの地域は自分たち

で守る』という意識の低下も問題です。職場が町外のため日中の消防活動には参加できない団員も多数います。今後いざという時の人員不足に備えて、非常時にも柔軟に対応できる体制づくりを考えていかなければなりません」と消防団の現状を話す。

「現在、町と協力しながら団員数を確保するための取り組みを進めています。『消防団応援の店』もその一つです」と池田さんが話すのは、『応援の店』登録店舗などを団員が利用すると、料金割引などのサービスが受けられるというもの。昼夜を問わず地域のために貢献している消防団を、地域が応援しようという取り組みで、町では登録店舗を募集している。

「店舗側も新たな顧客獲得につながるため、双方に利点があると思います。この取り組みが、地域を守る団員確保につながればと期待しています」と話す池田さんは町民の暮らしを守るため、団員と共に非常時に備え、消防団の課題に向き合い続ける。

広報 こうさ

2019年（令和元年）6月号
通巻599号